

←左の余白は25ミリ

↑ 上(下)の余白は30ミリ

右の余白は25ミリ→

高知県における理科教育の研究 題名は16ポイント, ボールド

CST 同士の連携を中心に 副題は14ポイント使用

○高知太郎^A, 中岡次郎^B, 板垣千代^C 氏名・所属は10.5ポイント使用。
KOCHI Taro, NAKAOKA Jiro, ITAGAKI Chiyo 発表者に○を付す。
高知大学^A, 黒潮中学校^B, 太平洋小学校^C

【キーワード】 理科授業, 校内研修, カリキュラム 5語以内

標題と本文は1行開ける。本文は、2段組とする。余白を上下30ミリ, 左右25ミリとする。

1 目的

小学校と中学校における理科学習は、……。土佐(2012)は……と指摘している¹⁾。
(本文は10.5ポイント活字。1行当たりの語数と行数は、著者で決めて良い。)

CST と一般教員との関わりを図1に示す。



図1 CST と一般教員との関わり

2 方法

第一に、高知の自然を活用した教材研究をCST が共同して行った。具体事例を表1に示す。

表1 高知の自然を活用した教材集



第二に、……

これらの結果を整理すると表2のようである。

表2 CST の活動に対する要望

3 結果

結果は……であった。

……
……

4 考察

本研究では、……のことが明らかになった。岩崎(2012)は、……と述べており²⁾、このことから……。

参考文献

- 1) 土佐, 『理科の校内研修』, 室戸出版, 2012年。
- 2) 岩崎, 「高知の理科教育史」 土佐教育学研究, Vol.1, No.2, pp. 34-56, 2011年。

↓ 下の余白は30ミリをとる。